出エジプト記結晶の学び（二）3 第 21 週
一年に三度、神に対して祭を守ることは、キリストの中で三一の神を完全に享受することを予表する

鳥瞰	神は彼の選びの民に一年に三度、祭を持ち続けることを求めました。この三度の祭りとは、パン種のないパンの祭り、ペンテコステの祭り、仮庵の祭りです。これらの祭を守ることは、キリストの中で三一の神を完全に享受することを予表します。パン種のないパンの祭りを守ることは、キリストを罪のない命の供給として享受することを通して、すべての罪深い事物をきよめて除き去ることを予表します。刈り入れの祭り（七週の祭り、あるいはペンテコステの祭り）は、復活したキリストの霊の初穂の享受を予表します。仮庵の祭りは収穫の完成です。	
	真理要点	経験適用
1日	1．出エジプト記第 13 章 7 節で、パン種がイスラエルの子たちの間に見られてはならないとありますが、これはどのように用いられますか？ 2．パン種のないパンの祭りは七日間続きますが、これは何を表徴していますか？	1．わたしたちのクリスチャン生活にパン種が見られるべきではありません。わたしたちが全くパン種を持たないのは不可能ですが、わたしたちは現されているどのような罪も、見えているどのような罪も対処しなければなりません。わたしたちはそれを意識すると直ちに、それを対処しなければなりません。わたしたちは意識している罪を捨てなければなりません。わたしたちは罪のどのような現れも容認すべきではありません。 2．七日は完全の期間であり、わたしたちのクリスチャン生活の全生涯、すなわち悔い改めた日から携え上げられる日までを表徴します。過越を享受した者たちは、継続してパン種のないパンの祭りを守りました。これが予表するのは、キリストの贖いと供給を享受する者たちが、さらに、罪をきよめて除き去る生活を生きて享受するということです。
2日	1．神の贖われた民がパン種のないパンを食べること、パンを穀物のささげ物として用いることは、どのような啓示がありますか？ 2．コリント人への第一の手紙第 5 章 7～8 節にある 2 つの祭りとは何ですか？	1．穀物のささげ物は人性におけるキリストを表徴します。すべての人は肉体の中に罪の要素を持っていますが、人としてのキリストは肉体の中に罪を持っておられませんでした。キリストは「罪の肉の様で」来られましたが、彼には肉の罪の実際はありませんでした。この罪のないキリストは、パン種のない（罪のない）要素として、彼の信者の中へと分与されるべきです。 2．わたしたちは、救われたとき、過越の祭りを享受しました。今やわたしたちクリスチャンの全生涯にわたって、わたしたちはパン種のないパンの祭りを享受すべきです。クリスチャンの生涯はパン種のないパンの祭り、どのようなパン種もない、命の供給としてのキリストを享受する祭りです。日ごとに、わたしたちはパン種のないパンの祭りを守る必要があります。主にお会いするまで、わたしたちはクリスチャン生活の全行程にわたって、この祭りを守るべきです。
3日	1．パン種のないパンとしてのキリストは、わたしたちにどのようにして純粋な召会生活を送らせますか？ 2．旧約の中で刈り入れの祭りは、何を予表していますか？	1，キリストの中でわたしたちはパン種のない者ですが、わたしたちの天然の存在によれば、パン種に満ちています。パウロが命じているのは、新しい練り粉のかたまりとなるために、古いパン種を一掃し、わたしたちがパン種のない者であるようにということです。それは、新しい性質における信者たちから成る召会を指しています。わたしたちは、キリストの中でパン種のない者であって、自分自身にしたがってではなく、キリストにしたがって生きるべきです。 2．ペンテコステの日に、刈り入れの祭りの新約の成就、聖霊が来ました。ペンテコステの日に下ったその霊は、神にささげられた初穂としてのキリストご自身でした。ペンテコステの日に来たその霊は、旧約で神にささげられた初穂の成就です。初穂は復活におけるキリストを予表しており、この復活したキリストはその霊です。
4日	1．旧約の刈り入れの祭りは、今日新約の中では何を表徴していますか？ 2．仮庵の祭りは刈り入れの祭りの完成ですが、なにを予表していますか？	1．刈り入れの祭りは、復活したキリストによってもたらされた豊富な産物の享受を予表しています。このことが表徴しているのは、信者たちが、ペンテコステの日に、満ちあふれる霊を受けることを通して良き地の中へと入っただけではなく、神の新約エコノミーにおける神の完全な分け前としての、復活と昇天におけるすべてを含むキリストの満ちあふれる豊富にあずかったということです。 2．予表するのは、時代の、喜ばしい祝福としての来たるべき千年期であって、それは神の贖われた民が、勝利者と救われたイスラエル人を含めて、回復された地上で千年間、神と共に享受するためであるということです。仮庵の祭りが七日間あるのは、この祭りの間、キリストは日々食物として神にささげられて、神と人の両方を満足させるということを予表します。
5日	1．仮庵の祭を守ることは、ブレンディングの真の絵であるとなぜ言えますか？ 2．どのように、この仮庵の祭は、今日わたしたちが未だに荒野にいることを思い起こさせますか？	1．ユダヤの民は、良き地からの彼らの作物を完全に収穫した後、仮庵の祭りを守って神を礼拝し、彼らが収穫したものを享受しました。イスラエルのすべての民は、一年に三度、このブレンディングのためにエルサレムへ行くことを要求されました。最後の時は、収穫後の秋であり、良き地の収穫から彼らの産物を享受し、礼拝をもって神を賛美し、神をほめたたえ、神を称賛しました。 2．神が仮庵の祭りを定めたのは、イスラエルの子たちの父祖が荒野をさまよっていた時、どのように天幕の中に住み、良き地の安息に入ることを、彼らが期待していたかを記念するためでした。“この祭りは、わたしたちが今日まだ荒野にいて、新エルサレム（永遠の幕屋）の中へと入って、安息を得る必要があることを、思い起こさせるものです
6日	1．聖徒が新天新地における新エルサレムに入るとき、彼らは尚も自分たちの永遠の住まいを幕屋と呼ぶのは何故でしょうか？ 2．イスラエル人が守る仮庵の祭りが、人を満足させることが出来ないのは何故ですか？	1．彼らが経験したものを記念するためです。“わたしたちは新エルサレムに入るとき、自分が経験した多くの永遠の、喜ばしい記憶を持つようになります。仮庵の祭りの実際は、わたしたちがどのように神を経験し、神がどのようにわたしたちと共に住んだかを記念する享受の時です。 2．仮庵の祭りは、実際としてのキリストの予表でした。その祭りは彼らを満足させなかったので、その終わりの日に主は、だれでも渇き、満足しない者は彼に来て、彼らの真の満足のために飲むべきであると叫ばれたのです。真の満足は、キリストを受け入れ、彼から飲むことでした。それは、彼らが満足するだけでなく、生ける水の川々で満ちあふれるためでもあります
まとめ	クリスチャン生活の中でパン種のないパンの祭りを経験する必要があり、罪を除き去る生活を生きて享受するために、わたしたちは現されているどのような罪も対処しなければなりません。わたしたちは意識している罪を捨てなければなりません。わたしたちは罪のどのような表れも容認すべきではありません。わたしたちが永遠の仮庵の祭りに入るとき、自分が経験した多くの永遠の、喜ばしい記憶を持つようになります。今日、恵みの時代において、どのような召会生活を生きるかが重要です。もし、わたしたちが追求し、奉仕し、福音を述べ伝え、さらに新人を牧養するなら、多くの経験は記憶となるはずです。	